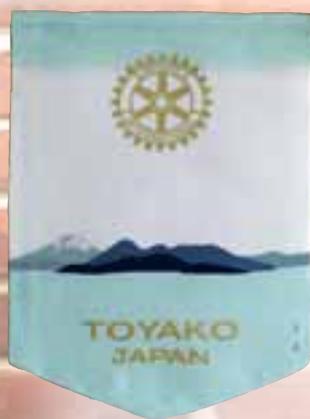


2013-2014 ガバナー月信

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

8



国際ロータリー第2510地区 2013-2014年度ガバナー 安孫子 建雄

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル 7F TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512  
e-mail:rid2510@nifty.com http://rid2510.org

2013-14年度 国際ロータリーのテーマ  
ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を  
ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES



国際ロータリー第2510地区 2013-14年度 行動指針

- I 大震災復興への支援事業継続
- II R I 戦略計画・財団未来の夢計画の理解と奉仕事業実践
- III クラブの運営を点検し会員の参加意欲向上を図り  
会員の維持増進につなげよう
- IV グループ・クラブ間の交流を盛んにし会員の世界を広めよう  
対面での交流を基本とし、情報交換にITを活用しよう

**CONTENTS**

目次	ガバナーメッセージ	1
	会員増強月間に因んで	2
	2013-2014年度 地区委員会活動計画	3
	地区組織の変更について・クラブ幹事の変更について	
	クラブ例会曜日、時間の変更について・IM等の変更について	14
	2013-2014年度 地区大会のご案内	15
	新会員のご紹介・国際ロータリー脱会について	16
	ガバナー・ノミネー候補者推薦のお願い・文庫通信	17
	地区カレンダー	18



## 2013-14年度公式訪問

# 他諸委員会行事出席の開始にあたり

国際ロータリー第2510地区

2013-2014年度ガバナー

**安孫子 建雄**

(江別RC)

7月1日安孫子建雄ガバナー年度はスタートしました。

すでに地区ロータリー財団委員会、米山記念奨学委員会そして国際奉仕委員会、クラブ奉仕委員会と立て続けに出席しております。また21日には会員増強セミナーが札幌学院大学をお借りして開かれました。

そして71クラブ（昨年度末札幌あけぼのクラブが国際ロータリーを脱会しました）への公式訪問の旅立ちです。すでに訪問スケジュールはお知らせ済みです。

クラブの皆さんにお会いできることを楽しみにしております。

この原稿を書いている時点で二週間たち6クラブ（第2、3グループ）を回りました。

始まったばかりのクラブ訪問ですがそれぞれ異なった問題、共通の問題があります。

また会員数の大小によりクラブ運営に違いが出るなど、現地におじゃまして初めて分かることもありました。

R I（国際ロータリー）とTRF（ロータリー財団）の関係や運営の姿などクラブ単位では関係ないように思えることなども皆さんに説明しながら、変わりつつあるロータリーの現状について伝えていくようにしております。

CLP（クラブ・リーダーシップ・プラン）については多くのクラブで取り入れています、運用とCLPの意図するところが一致せず試行錯誤状態のところもあるようです。

さらに「未来の夢計画」の本格実施となりましたが、こちらもクラブへの浸透には時間がかかり、地区からクラブへの丁寧な説明と理解をいただく必要があります。

先立って実施されています「R I戦略計画」にいたっては今一度クラブで取り上げ我々の活動の方向を見定めて行かなければなりません。

未来の夢計画の意図する「財団は私達のもの」との認識をすることは重要であり、寄付行為が奉仕事業につながる事、もしくは奉仕事業を実現するため資金が財団につながることを実感できる姿にしていかなければなりません。

ガバナーとして会員皆さんと一緒に考え行動に移すためにおじゃまします。

クラブ会員のお声をお聞かせください。



## ご自分のクラブをもっと魅力的に！ 8月は会員増強および拡大月間です

地区会員増強委員会

委員長 細川好弘  
(静内RC・PG)

日本の会員の減少傾向は今なおとどまる事を知らないとの推測が一般的であります。田中作次昨年度R I会長は2015年6月までに全世界の会員130万人を目標とすると宣言いたしました。早速SAKUJI作戦という全国規模での増強作戦を実施いたしました。その成果として情報は発信されたようですが実績は、更なる努力が求められるかと思えます。

130万人目標は各クラブ年間3%純増が基礎にあってのことですが、会員増強はそのクラブに入会したいというクラブづくりと魅力的なクラブが原点にあるのではないのでしょうか。

2012-13年度、ガバナー公式訪問観てある記『思いの儘』を発行させていただきましたが、第2510地区内各クラブにはそれぞれの持ち味があり、歴史と伝統を誇りとして、ロータリーを楽しみ、仲間と共に親睦を深めておられ、会員増強では前向きに取り組んでおられることを確認させていただきました。

しかし地域の実情や経済環境に左右されることにも大きな要因がありますが、会員増強はロータリーにとって大切なテーマであることはロータリアンとして誰もが理解しているところでもあります。

地区の会員数は1993年6月末で4,256名をピークにして毎年150~200名の会員が減り続き、最近70~90名の会員減少が繰り返されております。

2011-12年度は年度始めと同数の2,573名で2012-13年度を迎えたのでありますが、年度頭初2,560名で5月末現在2,620名でしたので60名の純増となっております。(内女性会員119名)各クラブのご尽力に感謝を申し上げます。

ここに来て企業としての対応に異変が見られるものの更なる退会防止と新入会員の勧誘に努め、ロータリーの素晴らしさとその成果を魅力あるものに盛り上げて行かなければならないと思えます。

本年度ロンD、バートンR I会長は新しい仲間、新会員候補者に入会をお願いするのは全ロータリアンの責任であると強調しております。

又、安孫子建雄ガバナーは過去に会員であった人、今会員の人、これから会員になるだろう人たちをつなぐことは大きな広がり生まれるとコメントされておりますが、加えて人として心をかよわせ、世のため人のため尽くすという素晴らしいことを体験しながら本当のロータリアンになって行くともお話しされております。

安孫子年度7月のプログラム、地区会員増強セミナー(7月21日・江別市)が開催され、市川伊三夫パスト・ガバナー(東京銀座RC)の基調講演は『人生は感動を求める旅~よき友を増やす秘伝』と題して国内外に於ける感動の出逢いの体験談を通して会員増強について為になる講話がなされました。特にロータリーは人生そのものです。ですから皆さんの人生を豊かにしようと思ったらロータリーを大切にす気持ちを持った方が良いと思えます。と結んだ言葉が印象に残ります。

さあ今日からロータリーを大切にす為、ご自分のクラブを更に魅力的に、そして素晴らしい仲間をお誘いし会員増強推進でR I会長賞を目指しましょう。(詳細は2013-14年度R I会長賞パンフレット参照)

会員増強は永遠の課題であります。老若男女力を合わせてロータリーをより良い未来へと導く原動力があります。よろしくお願いたします。

## 2013-2014年度地区委員会活動計画

### 会員増強委員会

委員長：細川好弘（静内RC・PG）



#### 1. 活動方針

新しい仲間、新会員候補者に入会をお願いするのは全ロータリアンの責任であるとロン D. パートン R I 会長が強調しております。

国際ロータリーは2015年6月まで会員130万人を目標としており、その為には各クラブ年純増3%の達成を目指しましょう。

#### 2. 活動計画

- ①地区会員増強セミナーを実施 7月21日(日) 江別市
- ②会員増強推進でR I 会長賞を目指そう
- ③『SAKURI』作戦の推進に努めよう
- ④毎月新会員をお誘いしよう
- ⑤退会防止に努めよう

### R I 国際大会推進委員会

委員長：熊澤隆樹（小樽RC・PG）



#### 1. 活動方針

ガバナー月信を通じて、国際大会（シドニー、6月1日～4日）を知らせる。

#### 2. 活動計画

旅行計画については、日本旅行北海道支店、産経海外旅行、出来たらもう1社くらい、早めに旅行計画を立てて会員へのお知らせを早めに出す。

又、個人参加についての情報収集に努めて、「北海道ナイト」を楽しいものに企画する。出来たらオーストラリアに留学していた人達にも声掛けをしてみたい。(私の娘を含めて)

### 拡大委員会

委員長：渡邊恭久（滝川RC・PG）



#### 1. 活動方針

ロータリーの「綱領」を实践できる既存の概念からではなく、新たな対象を探し焦点を当て、新クラブ結成の切り口を見つける。

#### 2. 活動計画

会員の減少に歯止めがきかないこの時代に、新たな視点から、ローターアクト出身者、財団学友などの若い人たちの価値観や手法でクラブ運営が出来る新クラブの結成にその切り口を見つけたい。

例：かながわ湘南RC、大阪ネクストRC、中部名古屋みらいRC、福島グローバルRC、東京米山友愛RC

### 文献資料室

委員長：松根壽史男（札幌南RC）



#### 1. 活動方針

- ①ロータリーにふさわしい文献、資料の収集整理を行う。
- ②インターネット利用法を再構築する。

#### 2. 活動計画

- ①会員に利用して戴くよう広報を工夫する。

- ②インターネットを利用した情報提供、地区広報・I C委員会と協力して行う。
- ③ロータリー資料の保存方法と廃棄資料の確認作業
- ④新入会員に対する「ロータリーとは」のDVDの啓蒙

## クラブ奉仕委員会

委員長：宮部 光 幸 (札幌モーニングRC)



### 1. 活動方針

地区クラブ奉仕委員会は2008-9年度以降、ガバナーの特命事項として、クラブへのCLPの導入推進を行ってきた。この間、地区内のCLP導入クラブ数は2009年調査時12クラブ、同2010年22クラブ、同2012年35クラブと増大し、ほぼ半数の実施をみた。

一方、『CLPの導入を検討している』クラブは2010年24%から2012年13%と推移し、当地区でのCLPの導入は一応の成果はあったとみられる。

今後の課題は『導入予定はない』とするクラブであるが、①CLPを導入しなくても活性化しているとする大規模クラブ、②CLPを導入するにも会員が過少である、とするクラブへの対応である。

この対応は今後とも実施するとしても、現段階で次の課題がある。

それは『CLPを導入したが、具体的にどのように運営するのか』という訴えである。

また、『クラブを超えた指導者養成』も欠かせないとの指摘もある。

この二点につき昨年度、『地区CLP特別委員会』において協議を重ねた。

その結果、CLP等のクラブ活性化の推進に今後とも対応しつつ、

①『CLP導入後のクラブ運営』は地区のクラブへの第1の協力事項であり、『クラブの長期計画立案・実施』把握とその情報化・コミュニケーションを高めることが必要であること。

②『クラブを超えた指導者養成』は将来の目標であるが、現在、当地区では実施する状況にない。

今後、研修計画と費用負担の両面から検討する。

との結論を得た。

以上にに基づき、今年度は『クラブ奉仕・クラブ運営管理』にかかわるクラブの長期計画立案・実施の調査とその情報化・コミュニケーションの計画を実施することを方針とする。

### 2. 活動計画

- ①『CLPなどのクラブ活性化に取り組むクラブ』の事例調査・分析
- ②『CLPなどのクラブ活性化に取り組むクラブ』の紹介  
良い点を紹介する→月信・WEB
- ③上記よりリソースの収集と提供
- ④研修セミナーの地区協議会・分科会の実施

## 広報・I C委員会

委員長：堀江 和美 (砂川RC)



### 1. 活動方針

①インターネットを利用して情報交換を行うとともに各クラブに対して必要な情報を効率的に伝達する。

②地区ウェブサイト充実を図る。

③クラブのIT化への協力をする。

④地区広報に関するありようを模索する。

### 2. 活動計画

①メールマガジンの配信

- ・インターネットを通じて流通する情報や地区内の情報、さらには他地区の有用な情報を速やかにガバナーはじめ地区内の会員に電子メールで配信する。

## ②地区ウェブサイト

- ・地区からの情報および各グループ、各クラブからの情報を掲載し情報の共有化を進め、ロータリーの広報にも意識した運用を心掛ける。
- ・各地区委員会と連携してすべての委員会のページを制作し、地区委員会とクラブや会員との距離を近づけるお手伝いをする。
- ・速報性を生かし月信などの記事をより早くクラブに伝達する。

## ③インターネット活用の普及促進

- ・R IのホームページやROTARY JAPANのホームページ上にある情報の取得方法や利用方法を紹介する。
- ・IT化が進んでいるクラブの実例を参考として紹介する。

## ④各クラブ・地区委員会のホームページ作成のお手伝い

- ・ホームページを立ち上げる運用ノウハウを伝達するように努める。

## ⑤委員会メンバーの相互交流によりレベルアップを図る。

- ・オンライン（インターネット上）、オフライン（直接会う委員会）で情報交換を行うことによりお互いのレベルアップを図り、所属グループや各クラブへフィードバックする。

## 職業奉仕委員会

委員長：福田 武 男（千歳RC）



## 1. 活動方針

2013～2014年度R Iロン・バートン会長は今年度のテーマを「ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を」と設定しています。

それを受けてR I第2510地区安孫子建雄ガバナーは「ロータリーの基本を見つめ、変革するロータリーを实践しよう」、そして「グループ・クラブ間の交流を盛んにしよう」という点を強調しました。

これらを職業奉仕で実現するために、長年の地区職業奉仕委員会の願いであった「職業奉仕フォーラム」を、クラブ及びガバナー補佐のみなさまのご理解とご協力を頂きながら、できるだけ多くの地域で開催したい。そして一人でも多くの会員に、「職業奉仕の理念」すなわち「奉仕の心」を思い出してもらい、気が付いてもらうことを、最終的な目標としたい。

## 2. 活動計画

- ①地区職業奉仕委員会の中で、年に6回、隔月で「職業奉仕の勉強会」を実施する。
- ②「10月の職業奉仕月間」だけではなく年度を通して、クラブでの「職業奉仕フォーラム」や「ロータリーの勉強会」を開催するよう、地区内クラブに奨励していく。
- ③クラブの要望に応じて或は定期的に、職業奉仕の勉強のための資料や文献の紹介を行っていきたい。
- ④地区12グループを3～4回に分けて、「職業奉仕フォーラム」を開催する。ガバナー補佐、クラブ職業奉仕委員長、地区職業奉仕委員、地区職業奉仕カウンセラー、地区職業奉仕担当幹事など、30名くらいで実施する。
- ⑤「職業奉仕フォーラム」が希望したグループすべて終了した時点で、「職業奉仕の小冊子」を作成する。

## 社会奉仕委員会

委員長：清水 哲（札幌東RC）



## 1. 活動方針

当委員会は、ロータリーの原点がクラブにあることを常に意識して、クラブの活動が円滑に推進されるために、サポートする委員会です。

同時にクラブが一層活性化するために、いくつかのヒントを提示し、参考にさせていただけるように積極的な姿勢でのぞみ、地区とクラブの友情ある関係を深めていく一年にしていきます。

## 2. 活動計画

- ① 3年間にわたる、R I D2510大震災救援奉仕プロジェクト委員会の事業が前年度までに終了しましたが、そのまとめと報告に関係する作業に協力します。その精神を引き継いで後に続く各クラブの事業や、地区での活動全体に関わって、提案し協力します。そもそも、この事業は各クラブとロータリアンの寄付と活動によって達成されたので、結果の報告についてもできるかぎり、協力する。
- ② 2010-2011年度に制作した、社会奉仕モデル紹介冊子『明日へ』の内容を各クラブにお知らせして、各クラブの社会奉仕活動の一助としていただく。
- ③ 各グループごとの、社会奉仕委員会相互の情報交換会を開催のしくみを模索する。可能であれば、ために一グループで、開催してみる。
- ④ 各クラブの社会奉仕活動をお互いに知り、勉強をしたり、協力するために、電子媒体の活用をする仕組みをつくりまします。

## 国際奉仕委員会

委員長：松原重俊(砂川RC)



### 1. 活動方針

第2510地区各クラブの皆様へ、地区国際奉仕委員会の活動を理解していただき、地区国際奉仕事業へ参加していただけるようにサポートする。また、未来の夢計画の中で地区国際奉仕事業のあり方を検討する。

### 2. 活動計画

- ① 国際奉仕事業の実施  
各クラブに、支援国の実情に応じたモデルプランを提供し、事業への参加協力をお願いする。  
また、国際奉仕活動の実施にあたり、「未来の夢計画」の中での事業をスムーズに進めることができるように地区財団委員会と連携をとる。さらに、検証ツアーを実施し、事業の実施状況を確認するとともに相手RCとの友好をはかり、築いてきた絆をさらに強いものにする。
- ② 国際奉仕活動の啓蒙  
卓話、ロータリー雑誌、地区行事、ホームページ等で地区国際奉仕活動を紹介し、多くの会員に理解していただく。
- ③ 「未来の夢計画」に向けて  
「未来の夢計画」の中で実施した事業を十分検証し、次年度へ向けてよりスムーズな事業ができるように研鑽を深める。

## 新世代奉仕委員会

委員長：柳孝一(札幌南RC)



### 1. 活動方針

- ① 安孫子ガバナーのもと新世代奉仕委員会の活動に邁進します。
- ② インターアクト委員会、ローターアクト委員会、青少年交換委員会、RYLA委員会の各委員会と連携をとり、情報交換を密にいたします。
- ③ 地区内ロータリークラブに新世代の存在と、その活動を認知・理解をおねがいいたします。
- ④ 新世代奉仕活動を通し、ロータリー活動の広報・PR活動に努めます。
- ⑤ ロータリークラブに若い会員が増える活動を試みます。

## 2. 活動計画

- ① 地区委員会を複数回開催し、活発な委員会の運営をします。
- ② RYLA委員会に協力し、RYLAセミナーの充実を図ります。
- ③ 9月「新世代月間」をガバナー月信等で広く地区内クラブに認知と理解を深めていただくような活動をします。

- ④インターアクト・ローターアクトクラブの新設をお手伝いいたします。
- ⑤ローターアクト学友（OB・OG）をローターアクト委員会と協力し、組織の充実を図ります。
- ⑥青少年交換学友（元ROTEX）を青少年交換委員会と協力し、組織の充実を図ります。
- ⑦インターアクター・青少年交換学生やRYLA参会者がローターアクトクラブ会員になる仕組み作りをします。
- ⑧元ローターアクターがロータリークラブ会員になる支援を進めます。

## ローターアクト委員会

委員長：坂井 治（千歳セントラルRC）



### 1. 活動方針

- ◆各ロータリークラブにローターアクトクラブのことを理解してもらい提唱しているクラブと、していないクラブの温度差を少しでもなくすように活動する。
- ◆ローターアクト出身者のロータリーへの入会促進に努める。
- ◆ローターアクトの活動にメリハリと充実感を持たせる。

### 2. 活動計画

- ◆ローターアクトクラブが提唱クラブとの連携を深める。（提唱クラブへの訪問など）
- ◆インターアクトからローターアクトへの道筋をつける。
- ◆大学のローターアクターの大学卒業後にも活動が続けられるようお願いすることや別に受け皿のクラブを作ることも検討する。
- ◆ガバナーにローターアクトクラブの例会への公式訪問をしてもらう。
- ◆会員増強のために
  - ①インターアクトとの連携を深める。（例えばインターの卒業式をローターでする）
  - ②米山奨学金を受ける学生に対してスポンサークラブから近隣のローターアクトに入会することを条件にってもらうようお願いする。
  - ③青少年交換派遣学生の帰国後アクトへの入会を義務付けるようお願いする。（近隣にクラブがない場合は検討の要あり）

## インターアクト委員会

委員長：山口 史朗（札幌東RC）



### 1. 活動方針

インターアクトの目標は、「指導力や高潔な心を身につけ、他者への思いやりと尊重の念を育み、個人としての責任や一生懸命仕事をする事の価値観を理解し、国際理解と親善を推進することです。」とされています。人類の未来を担うのは青少年です。無限の可能性を秘める青少年に対して、ロータリーは何が出来るのか。この問題意識がスタートだと考えます。ロータリークラブが、インターアクト・クラブの設立を支援し、指導やサポートを提供し、交流を深め育成していく。

自助・自立したインターアクト・クラブの活動は、ロータリーにもプラスをもたらす。まさに、双方に有益な関係構築をしていきたい。また、地区内において、提唱クラブ以外のクラブのインターアクトに対する認知度が低いと感じており、課題と認識しております。

これからのロータリーにとって、新世代奉仕は大きな眼目であると確信しロータリアンのインターアクトに対する理解と協力の拡大を推進していきたい。

### 2. 活動計画

- ①研修旅行の実施（8月4日～7日 台湾）予定
- ②年次大会の開催（ホスト 札幌モーニングRC・札幌龍谷学園高等学校）
- ③RYLAセミナー参加への積極推奨

- ④新世代同士の交流（他地区・他クラブ）機会の推進
- ⑤インターアクトとロータリーの協働プログラムの考案
- ⑥地区大会のブースの出展
- ⑦新規インターアクト・クラブの設立
- ⑧参加可能なロータリー及び会員プログラムの提供

## 青少年交換委員会

委員長：有 田 京 史（新札幌RC）



### 1. 活動方針

国際理解推進のために、その担い手を育成していく青少年交換プログラムは、今年度R Iテーマ「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」と願いを同じくしています。

今年度も、交換事業のより一層の充実のため、各クラブとの情報の共有に努め、地区新世代奉仕・インターアクト・ローターアクト・RYLA各委員会との連携を深めていきます。

### 2. 活動計画

- ①アメリカ・カナダ・オーストラリア・フィンランド4ヶ国〈7地区〉への派遣と受入。
- ②派遣候補生のためのオリエンテーションの実施。(8回)
- ③受入のためのオリエンテーションの実施。(クラブカウンセラー・ホストファミリー等)
- ④派遣学生壮行会・受入学生歓迎会の実施。(4回)
- ⑤受入学生・派遣候補生交流のためのレクリエーションの実施。(ニセコ・スキーキャンプ等)
- ⑥受入学生・派遣候補生の地区行事への参加。(地区大会、RYLAセミナー等)
- ⑦ホストファミリー・受入関係者交流会の実施。
- ⑧青少年交換学友との交流および名簿の作成。
- ⑨青少年交換プログラム危機管理オリエンテーションの実施。
- ⑩年間15回の委員会の開催。
- ⑪サッポロ・インターナショナルナイトへの参加。(受入学生・派遣候補生・ROTEX他)
- ⑫留学中の派遣生のサポート。(常時対応体制)

## RYLA委員会

委員長：舩 田 雅 彦（札幌南RC）



### 1. 活動方針

RYLAはRotary Youth Leadership Awardsの頭文字を取った略称です。日本語では、ロータリー青少年指導者養成プログラムと訳されていますが、Awardは、直訳すると表彰あるいは奨学金という意味がありますので、元々は新世代の若者を表彰することを目的としたプログラムです。

RYLAの実施形式は固定的なものではありませんが、標準的なものとしてR Iが紹介する形式は、14歳から30歳までの青少年を対象とする集中研修プログラムとして、新世代の若者たちが、地元のクラブ、もしくは地区レベルでロータリアンが主催するセミナー、キャンプ、またはワークショップに参加し、通常3日から10日間を過ごすというものです。

2012-2013年度は、7年ぶりにライラセミナーが復活しましたが、その実施形態は地区大会の並行プログラムとしてのもので、参加者も、これまでロータリーの活動に関わってきたローターアクト、インターアクトやROTEXといった方たちに加え地元の青年団の方たちといった範囲で実施されましたが、RYLAが本来予定していたものとは違うものであったのではないかと反省もありますので、今年度はRYLA本来の形で、新世代のリーダー候補が参加して良かったと思えるようなプログラムを提供したいと考えています。

### 2. 活動計画

- ①RYLAの実施時期として2014年5月頃を予定して、現実的なところとして1泊2日の予定で、参加者

に感動と学びを提供するために、準備をいたします。

- ②地区のRYLA委員会として定期的な会合をもって、RYLA開催の意義を共有するとともに、地区内各クラブへの情報提供を行います。
- ③地区内各クラブから新世代のリーダー候補者を推薦してもらうことを通じて、新世代奉仕のための特別のプログラムを持っていないクラブにも、ロータリーの新世代奉仕に参加していただくよう働きかけます。

## ロータリー財団委員会

委員長：遠藤 秀雄（登別RC・PG）



### 1. 活動方針

岩城秀晴委員長のあとの重責をお引き受け致すことになりました。会員皆様のご協力とご指導をお願い致します。ロータリー財団管理委員長工レクトの元RI会長李東建氏は、新年度の財団目標を以下の通り掲げています。

1. ポリオの撲滅の達成
2. 新しい補助金モデル（未来の夢計画）の導入を成功させる。
3. より公平で平和な世界を築くため、革新的なプロジェクトと創造的なパートナーシップに参加すること。
4. ロータリー財団が私たちの財団であるという自覚と誇りを築くこと。

### 2. 活動計画

第2510地区もこの財団目標の達成に全面的に協力して参りたいと考えています。特に今年度から世界の532地区で導入される未来の夢計画は補助金構成が簡素化されることにより、クラブが補助金を申請しやすくなり、ロータリー財団の標語「世界でよいことをしよう」を实践し、みんなに豊かな人生をもたらすために益々のご協力をお願い致します。

これらの目標を達成させるために恒久基金、年次基金と使途指定基金が不足することが予想されます。皆様には「毎年あなたも100ドル以上を」ご寄付いただきたいと思ひます。年次寄付の地区目標は33万ドル以上とさせていただきます。またロータリーカードのご入会もよろしくお願ひ致します。現在「ロータリー日本財団」への寄付は税制上の優遇措置を受けられることを申し添えさせていただきます。

## 財団資金管理委員会

委員長：久保田 俊昭（札幌RC）



### 1. 活動方針

- ①補助金の配分について、地区方針を作成すると共に、地区関連委員会との連絡調整を行う。
- ②補助金についての資金活用、資金管理を適切に行う。
- ③各クラブの新補助金の参加資格取得に向けて、指導助言を適切に行う。

### 2. 活動計画

- ①財務管理計画の作成を行なう。
- ②地区の参加資格認定手続き、クラブの参加資格（クラブ覚書・MOU）の取得を支援する。
- ③「補助金管理セミナー」の実施を支援する。
- ④補助金に関する財団への報告を始め、クラブと地区が提唱する全ての補助金において、適切な補助金管理を徹底させる。また、地区内クラブに適切に公開されるよう指導する。
- ⑤冊子「ロータリー財団の概要」の見直しを適宜行う。

**財団資金推進委員会****委員長：鍋谷操子 (函館セントラルRC)****1. 活動方針**

- ①財団の寄付の管理運営を図る。
- ②寄付額に対する理解を図り、増進強化に努める。
- ③クラブの寄付増進を図る。

**2. 活動計画**

- ①6ヶ月ごとの寄付について把握する。
- ②大口寄付者、ポール・ハリス・ソサエティについて推進する。
- ③使途指定寄付について推進する。
- ④年度内の1人100ドルの寄付を推進する。
- ⑤財団ポイント利用による寄付推進を図る。

**奨学金委員会****委員長：齊藤博司 (千歳セントラルRC)****1. 活動方針**

財団「未来の夢計画」の方針に基づき、名称を奨学金委員会（旧、国際親善奨学金委員会）となりました。本年度の活動方針は、地区補助金とグローバル補助金の2つの基金で文化研修奨学生（3ヶ月・6ヶ月）と1年度奨学生（大学院程度）の募集を行います。できるだけ当地区に留まり、帰国後は財団学友委員会がサポートする財団学友会員となり、当地区においてその国際感覚・知識・ボランティア精神をロータリアンのみならず、地域社会に大いに貢献することを期待しています。当委員会は、こうした奨学生の選考とともに、留学に出発するまでのサポートもおこないますので、各クラブからの積極的な奨学生の応募を期待しております。

**2. 活動計画**

すでに、2012年12月より、

- ①奨学金の種類と支給額及び留学生の人数などの検討。
- ②募集要項・ポスターの印刷など、およびそれらの送付作業。
- ③募集開始。
- ④各クラブへの申請書提出締め切り。
- ⑤各クラブからの当委員会への提出締め切り。
- ⑥当委員会での書類審査・面接選考（2013年7月にづれこむ）の活動を実施している。

この後、最終合否結果を本人と推薦クラブに通知する。奨学生に対しオリエンテーションを数回実施し、またその間に、相手国の受け入れホストRCとの交渉もあわせておこなう。そして、文化研修奨学生については本年度中に派遣し、1年度奨学生については大学院レベルの留学になるので、留学先の大学の体制のことなどを考慮して次年度の派遣になることになるであろう。次に、留学先の受け入れRCの選考・および交渉・調整などには学友会員のコネクションや助言が不可欠になってくるであろう。このことから、当委員会と学友委員会は、密接な関係でなければならない。

**職業研修チーム委員会****委員長：神部洋史 (滝川RC)****1. 活動方針**

- ①「未来の夢計画」による補助金制度の変革への地区やクラブの理解を得る。
- ②グローバル補助金と地区補助金さらにパッケージ・グラントについて学習する。
- ③チームリーダーの選考を継続的に行う。
- ④職業研修チーム（V T T）を構成する専門職種候補についての検討を行う。

⑤仮想チーム派遣の予算案の検討や、どの補助金が使えるかの検討を行う。

今年度はV T Tの派遣がないため、想定される事柄についての検討を行うが、後半期には次年度のV T T派遣チーム予定があれば、派遣団員の募集や語学研修などを行う。

## 2. 活動計画

- ①地区財団委員会と財団関連委員会の補助金管理セミナーや合同会議などを通じて、地区内各クラブの補助金の配分状況や各クラブからのV T T派遣の有無を確認する。
- ②地区補助金でV T T派遣資金を得られれば良いが、地区補助金のほとんどを各クラブの社会奉仕活動に生かされるのを優先するため、当委員会のあるべき姿としてはグローバル補助金やパッケージ・グラントからの助成を受けるべきと考えている。そのため、V T Tの性格が6つの重点分野のいずれかに合致していなければならないので、具体的にどのようなV T Tが派遣できるのかを早急に検討する。(ただしグローバル補助金を受けるためには、一つのプロジェクトを数回に分けて行うことが出来るが、総額30,000ドル以上の計画を立てなければならないので注意)
- ③チームリーダーの選考については、何時でも派遣の際に対応できるように、出来るだけ多くの候補者のリストを作成しておくよう努力する。
- ④上記②でも記載したが、派遣についてグローバル補助金やパッケージグラントの補助金を受けて行うV T Tの専門職種は、習得する側になるのか、習得させる側になるかによって編成作業が大幅に異なる。また、世界の他の地区から派遣されてくるV T Tの受け入れも予想される。そのため、ケースバイケースの想定をしておかなければならない。
- ⑤上記④でも記載したが、次年度でV T T派遣の希望があればなるべく早期に実効ある計画を立てる必要があり、委員会の派遣体制づくりに専念する。

## 財団補助金委員会

委員長：中山裕視(札幌真駒内RC)



### 1. 活動方針

今年度から今までの補助金制度が大きく変わりました。補助金制度には、①地区補助金、②グローバル補助金、③パッケージ・グラントがあります。

地区補助金は小規模な奉仕活動に認められます。

グローバル補助金は大規模な奉仕活動(事業規模が3万ドル~20万ドル)に認められます。

パッケージ・グラントはロータリー財団と戦略パートナーが立案した活動の枠組みの中でプロジェクトを実施します。今年度も多くのクラブ及びロータリアンが熱意と努力をもって、人道的、教育的、社会奉仕活動等のプロジェクトを実行して補助金制度を有効に活用できるように地区としてサポートしていきたいと思えます。

### 2. 活動計画

#### 地区補助金

小規模な活動であることがのぞましいです。補助金も10万円~30万円です。申請手続きは4月末日までに所定の書式で提出(ガバナー事務所)してください(提出期限厳守)。検討・審議して10月中に最終決定します。年内に申請クラブの補助金専用口座に振込みます。翌年6月末までに報告書を(写真、領収書、通帳コピーを添付)提出してもらいます。

#### グローバル補助金

大規模プロジェクトが対象です(事業規模が3万~20万ドル)。そして6つの重点分野に限定されます。①平和と紛争予防・紛争解決、②疾病予防と治療、③水と衛生、④母子の健康、⑤基本的教育と識字率向上、⑥経済と地域社会の発展。申請は年度を通じて随時提出できます。手続きは提案と申請の2つのステップがあります。いずれもオンラインで会員アクセスを通じて行われます。

だいたい2年サイクルで実施されます。1年目は提案と申請2年目は支払いと報告です。また相手国クラブとの協同活動ですので英語が得意なこととオンラインで手続きを行いますのでパソコンが得意なことが必

要です。

#### パッケージ・グラント

ロータリー財団と戦略パートナーが立案した活動の枠組みの中でクラブや地区がプロジェクトを実施します。WFと戦略パートナーから資金が提供されます。申請書はオンラインで会員アクセスから提出します。戦略パートナーはアガカーン大学との契約を更新し、今後パートナーシップを拡大。オイコクレジットとの契約は2013年6月に終了。ただし、2013年6月までにすでに承認されたオイコクレジットとのパッケージ・グラントプロジェクトは、そのまま継続して完了までサポートを受けられます。これによりパッケージ・グラントの戦略パートナーは、①アガカーン大学、②マーシーシップス、③UNESCO-IHE（ユネスコ水教育研究所）の3つとなります。

### 財団学友委員会

委員長：菅原 秀二（札幌大通公園RC）



#### 1. 活動方針

- ①財団学友会の活動に対する助言と支援。
- ②財団学友のロータリー活動への参加推進。
- ③財団学友に対するロータリアンの理解向上の推進。
- ④財団学友会の活動の広報と日本ロータリー学友会との連携の強化。
- ⑤ロータリー国際親善奨学生を選考やオリエンテーションへの協力の推進。

#### 2. 活動計画

- ①委員会の開催。活動計画の検討と確認。
- ②財団学友帰国報告会の開催。
- ③財団学友のクラブ例会での卓話の推進。
- ④財団学友の地区大会へのブースの設置と出席の推進。
- ⑤学友会ニューズレター発行への支援。
- ⑥米山学友会との交流の促進。
- ⑦日本ロータリー学友会との交流の促進。
- ⑧学友のロータリークラブへの入会の促進。
- ⑨学友会10周年記念の翻訳事業への協力。
- ⑩学友の語学力を活かし、地域ボランティアとして地域のイベントへ参加するなど、国際親善に寄与する諸活動への支援。

### 補助金監督委員会

委員長：愛須 一史（札幌はまなすRC）



#### 1. 活動方針

適正な補助金支出の監督とより有益適切な補助金の使途の実現。

#### 2. 活動計画

各クラブから申請されてくる奉仕活動の内容をよく検討し、不明な点があれば補充を求めするなどして可能な限り有益でロータリー財団の掲げる精神に沿った支出をめざすとともに、補助金額においても相当な補助となるよう努めたい。

## 米山記念奨学委員会

委員長：渡 邊 葉 子 (札幌西北RC)



### 1. 活動方針

R Iテーマ『ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を』の理解を深め、地域に根差した奉仕活動を实践し、未来を担う若者の育成に参加しましょう。

寄付目標：16,000円（普通寄付4,000円、個人寄付12,000円）

この目標達成の為、各クラブのご協力を推進いたします。

### 2. 活動計画

- ①年4回程度の委員会を開催致します。
- ②米山セミナーに於いてご協力頂いたアンケートに沿って、コ・ホスト制度の試験的な実施を今年度より行います。
- ③米山奨学生の受け入れを行った事のないクラブへ米山月間等に奨学生を派遣し、卓話を行います。
- ④奨学生・学友が、多くのロータリアンと交流の機会を持てるよう配慮致します。
- ⑤ロータリーが目指す国際平和の為の活動一つである米山記念奨学事業に対する理解・ロータリーに対する理解を奨学生の皆さんに深めて頂く機会を作ります。

## 米山学友委員会

委員長：半 田 善 行 (小樽RC)



### 1. 活動方針

学友（卒業した米山記念奨学生）とロータリアンとの交流、絆をさらに深めるための努力をしたいと思っております。総会（11月）と家族懇親会の定期行事に多くのロータリアンが参加出来るように広く呼びかけをします。又米山記念奨学委員会との連携、近年交流のある財団学友・委員会との更なる交流を深めて行きます。長沼国際交流フェスティバルにも学友の参加の呼びかけサポートを致します。各クラブからの要請があれば学友の卓話もしますので連絡願います。

### 2. 活動計画

- ①家族懇親会は7月27日(土)小樽市塩谷「迎賓館」にて開催。この日は小樽潮まつりのパレードの踊りに参加、その後懇親会を行いました。
- ②定時総会・懇親会は11月9日(土)に東京ドームホテルにて行います。
- ③機関誌「米山学友会（北海道）だより」の発行
- ④学友会役員の増員
- ⑤学友会名簿の更新

## 地区組織の変更について

### ・地区ポール・ハリス・ソサエティ・コーディネーターの任命

ポール・ハリス・ソサエティは毎年1,000ドルを年次基金、ポリオ・プラス、財団が承認した補助金に個人として寄付するロータリアンやロータリー財団の支援者を認証するプログラムです。もともと1999年に第5340地区で地区運営の認証プログラムとして始まりましたが、管理委員会で2013年7月からロータリー財団の公式認証プログラムになることを決定しました。

このため、今年度地区ポール・ハリス・ソサエティ・コーディネーターとして、鍋谷操子会員（函館セントラルRC）を任命したことをお知らせします。

### ・地区奨学金委員会について

宮内光則会員（恵庭RC）が新たに委員として選出されましたのでお知らせ致します。

副委員長の梶川裕史会員（札幌大通公園RC）が退会されましたので、地区組織図から削除をお願いします。

### ・地区未来の夢計画推進委員会について

副委員長に柳 孝一会員（札幌幌南RC）が選任されましたのでお知らせ致します。

## クラブ幹事の変更について

北広島RCの幹事が下記の方に変更致しますので宜しくお願い申し上げます。

櫻井和久会員：日興美装工業㈱ 代表取締役社長

〒001-0019 札幌市北区北19条西4丁目1-21

## クラブ例会曜日、時間の変更について

### ・札幌大通公園ロータリークラブ

例会時間の変更 毎木曜日19:00 ⇒ 変更後 **毎木曜日18:30**

会場（会場は変更ございません）札幌市中央区大通西11丁目 大通藤井ビル7階会議室

### ・札幌セントラルロータリークラブ

例会曜日の変更 毎火曜日 ⇒ 変更後 **毎水曜日**

会場は変更ございません

## I M等の変更について

ガバナー月信第1号P15の地区カレンダーでお知らせいたしました日程に一部変更と追加がございますのでご案内致します。宜しくお願い致します。

・第6グループIMの日程を2014年2月22日から **3月29日に変更**

・第2グループIMの日程を2014年5月24日から **4月19日に変更**

・地区財団資金管理セミナーを **2013年11月30日に開催予定**

## 国際ロータリー第2510地区

# 2013-2014年度 地区大会のご案内

ガバナー - 安孫子 建 雄  
 大会実行委員長 郷 和 平  
 ホストクラブ  
 江別RC会長 金 田 一 夫

2013-14年度の地区大会は、以下の日程で開催いたします。今年度は「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」という国際ロータリーテーマのもと、記念講演講師として福島県飯舘村村長 菅野典雄氏をお招きしております。多くのロータリアンおよびご家族のご参加をお待ち申し上げます。

- 2013年 9月15日 (日) 記念囲碁大会・・・・・・・・日本棋院北海道本部 囲碁会館  
 10月18日 (金) 記念ゴルフ大会・・・・・・・・札幌ゴルフ倶楽部 輪厚コース  
 10月19日 (土) 大会第1日・・・・・・・・シェラトンホテル札幌  
 会長・幹事会  
 地区指導者育成セミナー  
 フォーラム パネルディスカッション  
 並行プログラム スパウsprogram  
 R I 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会  
 10月20日 (日) 大会第2日・・・・・・・・江別市民会館  
 本会議  
 表彰  
 記念講演  
 懇親会・・・・・・・・江別市民体育館

ご登録に関しては、各クラブに登録申込関係書類を送付いたしますので、クラブ単位でお申込下さい。申込締切日は2013年 8月5日(月)とさせていただきます。

**登録料** | 会員・・・・・・・・15,000円    ご家族・・・・・・・・10,000円    新世代・・・・・・・・ 5,000円  
 R I 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会・・・12,000円    記念囲碁大会・・・・・・・・ 5,000円    記念ゴルフ大会・・・・・・・・ 5,000円



2013～2014年度  
 国際ロータリー第2510地区

**地区大会事務局**

〒067-0074 江別市高砂町10-15  
 TEL 011-382-0939 FAX 011-382-0936

# 新 会 員 の ご 紹 介

(敬称略)



七飯R C

大森 章吾

入会日 7月1日  
職業分類 造園工事



小樽銭函R C

佐々木信一

入会日 7月1日  
職業分類 食肉加工・卸



伊達R C

安宅 修治

入会日 7月2日  
職業分類 料理店和食



千歳セントラルR C

岩下 誠

入会日 7月2日  
職業分類 税理士

## 札幌あけぼのロータリークラブ解散のご報告

札幌あけぼのロータリークラブ  
幹事 久住 博

2013年6月30日付けで、札幌あけぼのロータリークラブは22年のクラブ史に幕を下ろしました。ガバナー事務所を通じてR I日本事務局へ脱会届と加盟認証状の返却を致しました。

札幌あけぼのロータリークラブは、札幌手稲ロータリークラブをスポンサークラブとして、1991年3月15日に手稲区民センターを例会場に44人の会員でスタートしました。ピーク時には会員数60名を有するまでになりましたが、その後、例会場が変わるたびに会員数が減少し、ここ数年は会員増強の成果も思うように上がらず、15名前後と一進一退の低迷を続けていました。

ところが、数ヶ月前から安静を要する病気、高齢等の事由により6名の退会者が次々と出て、急激な会員減少に引き留めようもなく、瞬時に財政危機に陥りました。大幅な会員増強も望めず、事務局廃止や会員の役割負担増の問題等もあり、ほとんどの会員が退会意思を表し、継続に向けての努力はしてみたものの例会の体を成さず、再生への道のりは厳しいものと予想され、ついに解散に踏み切らざるを得ない大変残念な結果となった次第です。

小さいクラブながらも青少年健全育成を中心にスポーツ大会、中学校合唱の輪等、他のクラブのご支援とご理解を戴き、多くの奉仕活動をさせて戴きました。継続されていた事業にその責任の重さを痛感しています。

当クラブに何かとご厚情賜りましたスポンサークラブ皆様の心情を思いますと、誠に申し訳なく感謝に堪えないところです。

歴代ガバナー、ガバナー補佐はじめ多くの皆様のこれまでの当クラブにお寄せ戴きましたご支援に心から感謝を申し上げご報告とさせていただきます。

## 2016-2017年度 ガバナー・ノミネー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 安孫子 建 雄  
地区ガバナー指名委員長 佐々木 正 丞

2016-2017年度地区ガバナー・ノミネー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長（地区ガバナー事務所気付）宛、文書（書式任意）をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナー・ノミネー資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1項～5項及び第8節の資格条件に適用していることを要します。

[参考] 国際ロータリー細則第13条（ガバナーの指名と選挙）  
国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定  
(1998-1999年度地区年次大会決議第8号)



「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 「ロータリーの資料」より

書名	著者/出版社	発行年	頁
『リーダーシップ』について (D. 2760地区大会記録誌)	深川純一	2013	13P
古澤文作・米山梅吉・和田菊松に関する三題話 (D. 2550月信)	神崎正陳	2013	5P
ロータリーの初心を訪ねて (D. 2680西播第2グループIM報告書)	安平和彦	2013	16P
元気なクラブになるために (会員増強・維持) (D. 2500地区大会報告書)	桑原 茂	2013	9P
決議23-34 (D. 2550月信)	鈴木 宏	2013	6P
ロータリーの楽しみ方 (D. 2620月信)	高野孫左衛門	2013	1P
クラブ活性化の戦略計画 (D. 2730月信)	山下皓三	2013	2P
和訳『ロータリーの綱領』が変わります (D. 2670月信)	木村大三郎	2013	2P
米山梅吉と5人の群像 (米山梅吉記念館館報)	宮崎幸雄	2013	3P

[上記申込先：ロータリー文庫]

### ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506  
開館：午前10時～午後5時 休館：土・日・祝祭日 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

# 地区カレンダー

8~9月

8月 会員増強および拡大月間	
1(木)	～6(火)福島キッズキャンプ in 北海道
2(金)	～3(土)全国インターアクト研究会(神戸)
3(土)	
4(日)	～7(水)インターアクト海外研修旅行(台湾)
5(月)	
6(火)	公式訪問(苫小牧北RC)
7(水)	公式訪問(白老RC)
8(木)	公式訪問(苫小牧東RC)
9(金)	公式訪問(苫小牧RC)
10(土)	
11(日)	
12(月)	
13(火)	
14(水)	
15(木)	
16(金)	
17(土)	
18(日)	
19(月)	
20(火)	公式訪問(深川RC、妹背牛RC)
21(水)	公式訪問(留萌RC)
22(木)	公式訪問(羽幌RC)
23(金)	
24(土)	
25(日)	
26(月)	
27(火)	公式訪問(函館東RC、七飯RC)
28(水)	公式訪問(函館北RC)
29(木)	公式訪問(函館RC、北斗RC)
30(金)	～31(土)地区野球大会(岩見沢) 公式訪問(函館五稜郭RC、松前RC)
31(土)	

9月 新世代のための月間	
1(日)	
2(月)	公式訪問(三石RC)
3(火)	～4(水)第1回ガバナー・エレクト研修セミナー (東京) 公式訪問(浦河RC、様似RC)
4(水)	公式訪問(静内RC)
5(木)	公式訪問(えりもRC) 2014-15年度地区研修リーダーセミナー(東京)
6(金)	
7(土)	
8(日)	
9(月)	公式訪問(洞爺湖RC)
10(火)	公式訪問(伊達RC、室蘭北RC)
11(水)	公式訪問(室蘭東RC、登別RC)
12(木)	公式訪問(室蘭RC)
13(金)	
14(土)	
15(日)	地区大会記念囲碁大会(札幌)
16(月)	敬老の日
17(火)	公式訪問(当別RC)
18(水)	公式訪問(札幌真駒内RC)
19(木)	公式訪問(小樽銭函RC)
20(金)	
21(土)	
22(日)	
23(月)	秋分の日
24(火)	
25(水)	公式訪問(新札幌RC)
26(木)	
27(金)	
28(土)	
29(日)	
30(月)	公式訪問(栗山RC)

2013年8月のロータリーレート 1ドル100円



私は今年の春、フランスの政府から叙勲されオールド・デ・ザール・エ・デ・レットルのオフィシャル勲章を貰った。フランスの芸術文化勲章である。そんな時に古い知り合いの濱野さんにロータリー・バナーを依頼されたので喜び勇んで制作した。實を云うとそれまで洞爺湖のバックになる羊蹄山を見たことがなかったので想像でそれを描いてみたのだがその制作中どうしても不安だったので念のため出かけて見たら、私が想像してゐたよりも山が近く、びっくりするほど大きく見えたのには驚いた。

早速初めっから描き直し、美しい羊蹄山をバックにした洞爺湖のロータリー・バナーが出来上がった次第である。

東郷青児

清水会長より制作依頼を受けて、西北クラブの性格、特徴などいろいろお聞きしたところ、①若い会員が多いこと②三角山があること③屯田兵が入植した開拓地であることなどが、あげられました。

そこで、これらの特色を生かしたものを3枚をそれぞれデザインして、理事の方々にはかったところ、多数の方がこの図を選ばれ決定いたしました。

黄・赤・黒の配色を基調としたのは、屯田兵の開拓地でもあるところから、その服装からヒントを得たものです。上の方は、その帽子、または、襟章などを参考にして配色してみました。

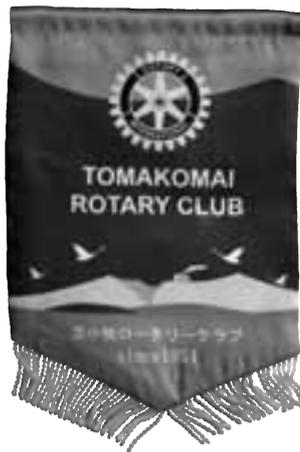
私は、ユニークなものできた、自画自賛しています。また、仕上がりは、染め、発色等よくできています。どうぞ、皆さんかわいがってください。

元西RC 栗谷川 健一 氏より

限りなく展がる緑の大地  
澄みきった青い大地との接点



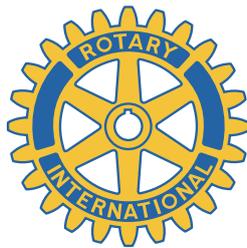
クラブの名前にふさわしい大通公園のシンボルであるテレビ塔と「泉の像」(本郷新)をデザインしました。観光客や市民に最も親しまれている2つのモニュメントです。



港の発展と共に伸び行く苦小牧市。そびえ立つ樽前山をバックに北の大地の大空高く、市の鳥、白鳥が優雅に舞う。静と動の調和のとれた苦小牧クラブでありたい。



クラブ創立40周年を無事に迎えた2010年、バナーは三代目として新しくしました。当地は登別温泉郷のお膝元であり、初代は“ヒグマ”、二代目は“鬼”があしらわれていました。そこで若いデザイナー(当地の専門学校生)にロータリーである事以外の情報なしで依頼したところ、見事に二つをコラボし全体の色合いとバランスも良い図案が提供され、三代目が誕生です。



**ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を**

**GOVERNOR'S MONTHLY LETTER  
2013-2014 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510**